

## 避難場所を確認していますか

市内には次の避難所があります。家の近くの避難場所を確認するだけでなく、職場の近くなども把握しておくで安心です。

### 指定避難所

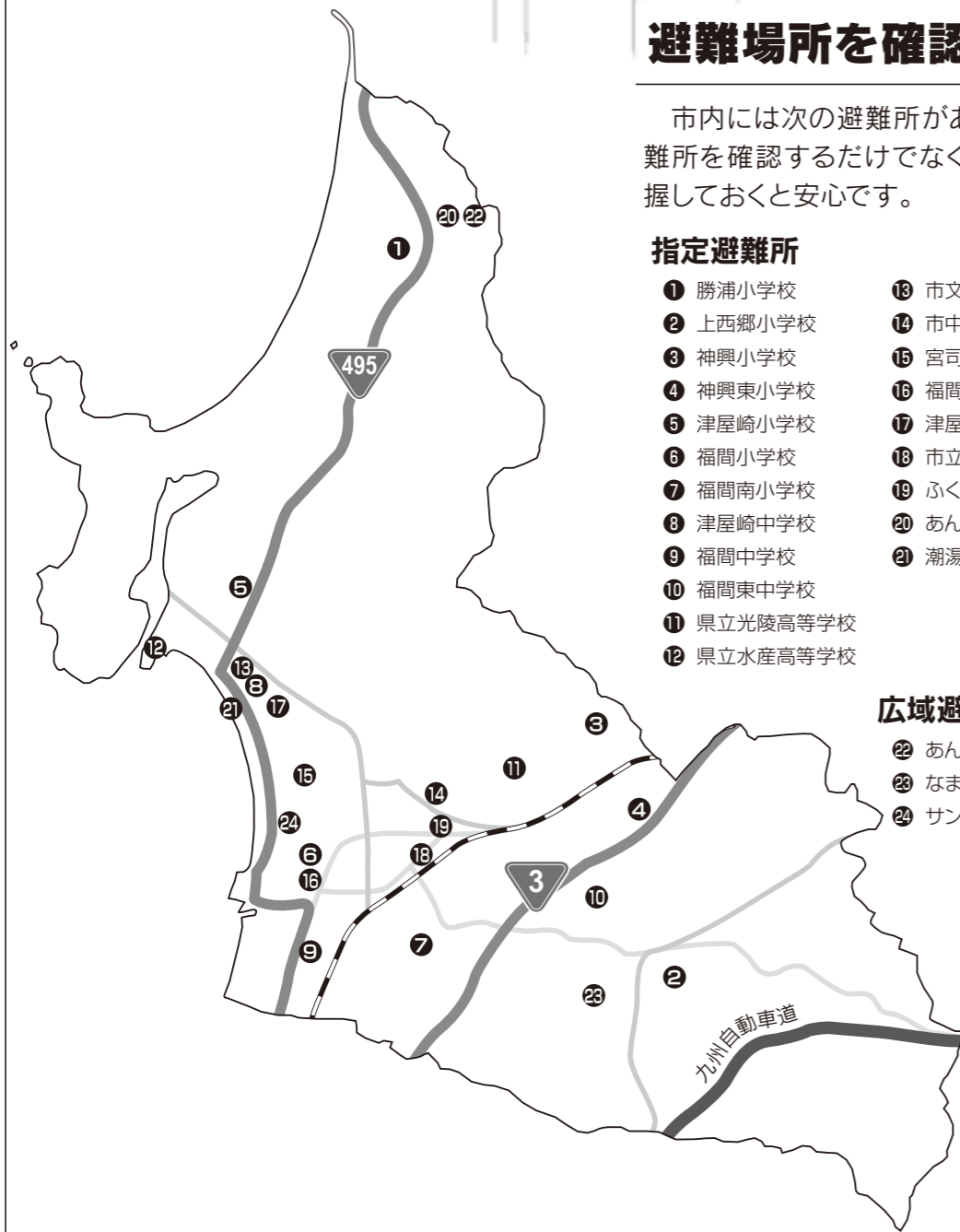
- |            |                 |
|------------|-----------------|
| ① 勝浦小学校    | ⑬ 市文化会館（カメラホール） |
| ② 上西郷小学校   | ⑭ 市中央公民館        |
| ③ 神興小学校    | ⑮ 宮司コミュニティセンター  |
| ④ 神興東小学校   | ⑯ 福岡体育センター      |
| ⑤ 津屋崎小学校   | ⑰ 津屋崎体育センター     |
| ⑥ 福岡小学校    | ⑱ 市立図書館         |
| ⑦ 福岡南小学校   | ⑲ ふくとびあ         |
| ⑧ 津屋崎中学校   | ⑳ あんずの里農林業体験実習館 |
| ⑨ 福岡中学校    | ㉑ 潮湯の里夕陽館       |
| ⑩ 福岡東中学校   |                 |
| ⑪ 県立光陵高等学校 |                 |
| ⑫ 県立水産高等学校 |                 |

### 広域避難地

- ㉒ あんずの里運動公園（多目的広場）
- ㉓ なますの郷（多目的グラウンド）
- ㉔ サンピア福岡（野球場）

### ※注意

上記の避難場所は、災害がおさまった後の二次的なものです。災害発生直後、身を守るために避難する場合には、災害の内容に応じて安全と思われる場所にまず避難してください。



東日本大震災で大きな被害を受けた宮城県気仙沼市

# 自ら災害に備える

9月1日は防災の日です。大正12年9月1日に関東大震災が起こったことや、例年この時期に多くの台風が襲来することから、「災害への備えを怠らないように」との戒めを込めて、昭和35年に国が制定しました。これを機に今月は防災、特に自助について考えてみたいと思います。

## 自分の安全は自分で守る

もし、市内で大規模な災害が発生したら。同時に多くの場所で被害が発生し、交通網をはじめ電気、ガス、水道といったライフラインも寸断され、救急も消防もマヒしてしまいます。もちろん、警察、行政機関も同様で、すぐには駆け付けられなくなります。

そこで、大切なものが「自助」「共助」です。まず、自身や家族・財産を守る自助。そして、地域で助け合う共助が求められるのです。特に自助は防災の基本であり、自助なくして、共助は成り立ちません。自らが積極的に災害に備えることが大事なのです。

## 防災の基本は

### もしもに備えること

最悪の事態を想定すれば、最善の対策が見えてきます。生き残るための準備が自助には必要なのです。例えば、大地震に備えての室内の家具転倒防止や、大雨洪水・土砂災害時の、早めの自主避難です。災害により対策が異なりますが、備えあれば憂いなしです。

非常時の持出品も、その一つです。「あれば便利なもの」をより「なければ困るもの」をまとめます。あれもこれもと欲張らず、自分が持ち出せる範囲の重さでまとめておきましょう。災害時は一刻を争うので、押し入れの奥深くとかではなく、出入り口付近など取り出しやすい場所に準備しておきましょう。

また、避難場所や避難方法などを日頃から家族などでよく話し合っておきましょう。

## 備えあれば憂いなし

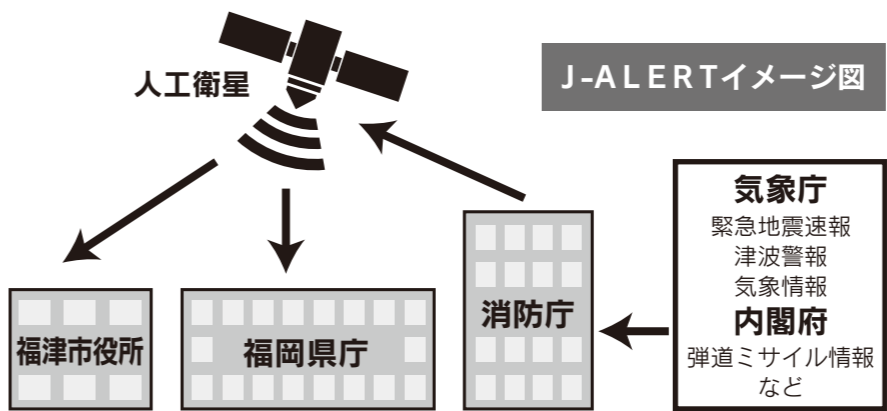
もしもに備えて、非常持出袋に次のようなものを準備しておきましょう。

- 飲料水 ○食料 ○ラジオ
- 応急医薬品 ○懐中電灯
- 電池 ○日用品
- ライター ○衣類など



# 緊急情報を瞬時に

災害に備えるための自助には、情報を得ることも重要となります。市には、消防庁が配信する防災緊急情報を瞬時に市民に配信する全国瞬時警報システム(J-ALERT)（ジェイアラート）があります。有事の際には、市内各所の防災行政無線（屋外拡声子局、戸別受信機）を通じて瞬時に警戒や避難を呼び掛けます。



## 防災行政無線を通じ 住民に直接周知

J-ALERTは人工衛星と市町村の同報系防災行政無線を利用して緊急情報を住民へ瞬時に伝達するシステムです。対処に時間的な余裕がない大規模な地震などの自然災害や弾道ミサイル攻撃などに関する情報を、「国から住民まで直接、瞬時に」伝達することができるといって最大の特徴です。

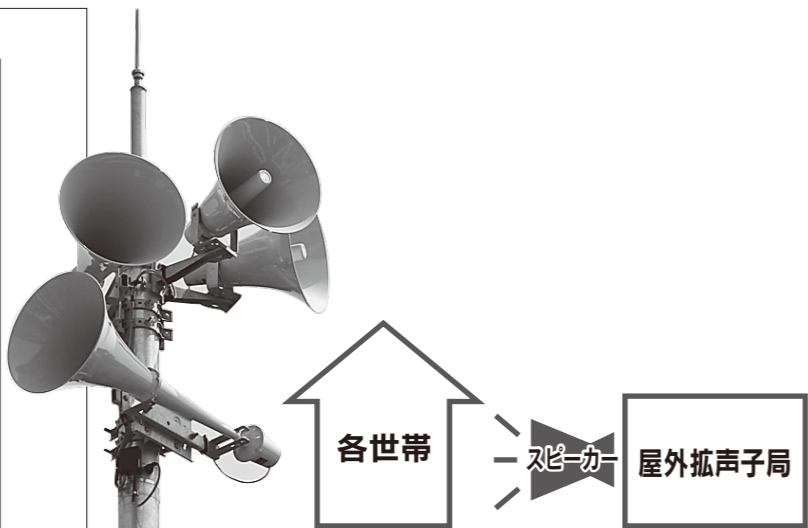
本市の場合、防災行政無線を通じて情報を伝達し、警戒や避難を呼び掛けることができます。

震度4以上の地震が発生した場合、緊急地震速報を配信します。チャイム音と共に「緊急地震速報。大地震です」などの登録音声で告知端末から地震発

生をお知らせします。速報は災害発生時などと同様、自動的に最大音量で流れる仕組みです。気象情報などは市が受信した情報を必要に応じて配信します。

本市の防災行政無線はデジタル方式を採用し、現在、市内全域に73基の屋外拡声子局と自治会長宅など170カ所に戸別受信機を設置。数多くの機器を設置することで、有事の際には警告や避難を、より多くの住民のかたに呼び掛けるように努めています。

しかし、市内全てに音が届くわけではなく、聞こえない地域、聞こえにくい地域もあるのが現状です。防災行政無線のスピーカーの増設など、少しでも多くの住民に情報をお伝えできるよう、検討を行っています。



## 防災行政無線が聞こえない!! そんな時は・・・

聞こえにくい地域のかたに朗報です。7月から新たなシステムを導入し、直近の防災行政無線の放送内容をいつでも電話で確認できるようになりました。

風が強くて聞こえなかった、窓や雨戸を閉めていて聞こえなかったときなどにも、安心して放送内容を確認することができます。ぜひご利用ください。



防災行政無線の放送内容の確認  
☎0180・999・292

## 【特集】災害に備える。自助のススメ

市内に73基ある  
屋外拡声子局

## いち早く情報を得るために 防災メールまもるくん

災害情報などを得るための一つの手段として「防災メールまもるくん」があります。これは県などからの情報を、携帯電話にメールでお知らせするものです。災害情報以外にも多くの情報を得ることができますので、携帯電話をお持ちのかたは、ぜひ利用者登録をください。  
登録すると得られる情報 ●地震・気象情報 ●自治体の発表情報 ●生活情報  
登録方法 携帯電話からは mamoru@bousaimobile.pref.fukuoka.lg.jp  
問い合わせ 県防災企画課 ☎092・643・3114



# 全国瞬時警報システムの 放送訓練を行います

全国一斉放送訓練を実施します。全国瞬時警報システムを利用し、市内の防災行政無線で、その緊急情報を住民へ周知する訓練です。今回の放送内容は「これは試験放送です」と3回繰り返し放送され、チャイムが鳴ります。訓練の趣旨を理解いただきますようお願いいたします。

訓練日時 9月11日（水）午前11時30分から  
問い合わせ 市生活安全課（福岡庁舎）

☎43・8107